



2013年3月期
第3四半期 決算説明資料

2013年 2月 5日
富士ソフト株式会社



● 目次

P. 3	連結業績ハイライト
P. 4	主なグループ会社売上高
P. 5	連結セグメント別売上高
P. 6	連結損益計算書
P. 7	連結貸借対照表
P. 8	連結キャッシュ・フロー計算書
P. 9	連結S I事業の受注高・受注残高
P. 10	単体損益計算書



● 連結業績ハイライト

売上高は、単体および子会社の増収により、前年同期比105.5%

◇単体の増収（5,079百万円）とヴィンキュラム ジャパンやサイバーコムをはじめとする子会社の増収により前年同期比105.5%の102,118百万円となりました。

営業利益は、前年同期比195.7%と大幅増益

◇上期に引き続き売上高増加および単体における販管費の抑制を主因に営業利益、経常利益、四半期純利益すべてにおいて大幅増益となりました。

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	前同差	前同比	2013年3月期	
	3Q実績	3Q実績			3Q計画	計画比
売上高	96,808	102,118	+5,309	105.5%	100,400	101.7%
営業利益	2,751	5,383	+2,632	195.7%	4,890	110.1%
営業利益率	2.8%	5.3%	+ 2.4		4.9%	
経常利益	2,239	5,455	+3,216	243.7%	4,630	117.8%
経常利益率	2.3%	5.3%	+ 3.0		4.6%	
四半期純利益	440	2,496	+2,055	566.8%	2,050	121.8%
四半期純利益率	0.5%	2.4%	+ 2.0		2.0%	



● 主なグループ会社売上高

(単位:百万円)

		2012年3月	2013年3月	前同差	前同比	2013年3月期	
		3Q実績	3Q実績			3Q計画	計画比
富士ソフト	(東証一部)	52,911	57,990	+5,079	109.6%	56,370	102.9%
サイバネットシステム	(東証一部)	9,773	9,960	+187	101.9%	10,020	99.4%
ヴィンキュラム ジャパン	(JASDAQ)	6,590	7,705	+1,115	116.9%	7,524	102.4%
サイバーコム	(JASDAQ)	4,710	5,286	+575	112.2%	5,137	102.9%
ヴィクサス	(非上場)	13,227	12,268	△ 958	92.8%	—	—

主なグループ会社売上高のポイント

(単体業績はP.10をご参照ください)

第3四半期も引き続き、上期同様の状況で推移しております。

●サイバネットシステム

主力C A Eについては新規ライセンス販売が伸び悩んだものの、保守契約更新が堅調に推移したこと、および上期のITソリューション分野におけるセキュリティ関連製品などの大型案件が寄与し、前年同期比101.9%の増収となりました。

●ヴィンキュラム ジャパン

特定顧客化戦略の推進に伴い、国内外のアウトソーシング案件や MD基幹システム関連のソリューション案件が増加したことにより、前年同期比116.9%の増収となりました。

●サイバーコム

ネットワーク、サーバの構築・保守・運用サービスや通信系ソフト開発における基地局等の案件が堅調に推移し、前年同期比112.2%の増収となりました。

●ヴィクサス

主要顧客においてハードウェア等の更新、インフラ構築などの案件が計画通り獲得できたものの、既存アウトソーシング案件の規模縮小、主要顧客の投資抑制により前年同期比92.8%の減収となりました。



連結セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		前同差	前同比
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比		
売上高 合計	96,808	100.0%	102,118	100.0%	+5,309	105.5%
SI事業	90,650	93.6%	95,699	93.7%	+5,049	105.6%
組込系ソフトウェア開発	26,322	27.2%	29,468	28.9%	+3,146	112.0%
業務系ソフトウェア開発	36,030	37.2%	38,817	38.0%	+2,787	107.7%
アウトソーシング事業	10,571	10.9%	10,157	9.9%	△ 414	96.1%
その他SI事業	17,725	18.3%	17,255	16.9%	△ 470	97.3%
ファシリティ事業	1,472	1.5%	1,495	1.5%	23	101.6%
その他事業	4,685	4.8%	4,922	4.8%	+236	105.1%

セグメント別売上高のポイント

第3四半期も引き続き、上期同様の状況で推移しております。

●組込系ソフトウェア開発

スマートフォン関連、基地局等の通信制御系が堅調に推移したこと、および自動車関連を中心に機械制御系が好調だったことにより増収となりました。

●業務系ソフトウェア開発

富士ソフトKCSの連結除外の影響があったものの、単体におけるカード、損保等の金融系統合案件、およびECなどのインターネットビジネス関連が好調だったことにより、増収となりました。

●アウトソーシング事業

単体およびヴィンキュラム ジャパンで増収となったものの、富士ソフトKCSを連結の範囲から除外したことを主因に減収となりました。

●その他SI事業

サイバネットシステムのC A Eのライセンス保守契約更新とサイバーコムネットワークやサーバ構築分野が堅調に推移したものの、単体においてDTV関連の製品の販売が一巡したことにより減収となりました。



連結損益計算書

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前同差	前同比	2013年3月期	
	3Q実績	3Q実績			3Q計画	計画比
売上高	96,808	102,118	+5,309	105.5%	100,400	101.7%
売上原価	74,400	77,824	+3,424	104.6%	76,550	101.7%
売上原価率	76.9%	76.2%	△ 0.6		76.2%	
売上総利益	22,408	24,293	+1,885	108.4%	23,850	101.9%
売上総利益率	23.1%	23.8%	+ 0.6		23.8%	
販売費及び一般管理費	19,657	18,909	△ 747	96.2%	18,960	99.7%
販管费率	20.3%	18.5%	△ 1.8		18.9%	
営業利益	2,751	5,383	+2,632 ①	195.7%	4,890	110.1%
営業利益率	2.8%	5.3%	+ 2.4		4.9%	
営業外収益	405	* 1 413	+8	102.0%	-	-
営業外費用	* 2 625	399	△ 226 ②	63.8%	-	-
持分法による投資損益	△ 291	57	+349 ③	-	-	-
経常利益	2,239	5,455	+3,216	243.7%	4,630	117.8%
経常利益率	2.3%	5.3%	+ 3.0		4.6%	
特別利益	41	326	+285 ④	791.0%	-	-
特別損失	272	205	△ 67	75.4%	-	-
税金等調整前四半期純利益	2,007	5,576	+3,568	277.8%	-	-
法人税等合計	1,428	2,895	+1,466 ⑤	202.6%	-	-
少数株主利益	138	185	+46	133.7%	-	-
四半期純利益	440	2,496	+2,055	566.8%	2,050	121.8%
四半期純利益率	0.5%	2.4%	+ 2.0		2.0%	

損益計算書のポイント

- ① 営業利益 (前同差+2,632百万円)
売上高の増加および採算性の向上と単体における販管費の抑制に加え、のれんの償却の減少も寄与し、大幅増益
- ② 営業外費用 (前同差△226百万円)
借入金返済に伴う支払利息の減少が寄与 (富士ソフト: △169百万円)
- ③ 持分法による投資損益 (前同差+349百万円)
持分法適用関連会社の投資損益の改善 (エース証券: +273百万円) が寄与
- ④ 特別利益 (前同差+285百万円)
富士ソフトKCS株式の売却益 (284百万円) の計上
- ⑤ 法人税等合計 (前同差+1,466百万円)
増益に伴う税金計上の増加 (富士ソフト: +647百万円)、富士ソフトKCS株式の売却による税金計上の増加 (+563百万円)

* 1 持分法による投資利益 (57百万円) を除いた数値です。

* 2 持分法による投資損失 (291百万円) を除いた数値です。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年3月期 期末	2013年3月期 3Q期末	前期末差
流動資産	49,019	44,561	△ 4,458
現金及び預金	13,420	11,216	△ 2,203 ①
受取手形及び売掛金	28,364	24,258	△ 4,105 ②
仕掛品	1,662	2,896	+1,233
その他	5,572	6,189	+617
固定資産	106,724	101,429	△ 5,294
有形固定資産	74,340	72,271	△ 2,069 ③
無形固定資産	9,334	8,013	△ 1,321
投資その他の資産	23,049	21,144	△ 1,904 ④
資産合計	155,744	145,990	△ 9,753
流動負債	40,343	34,439	△ 5,904
買掛金	7,902	6,161	△ 1,740 ②
短期借入金・ 1年内返済予定の長期借入金	17,632	15,732	△ 1,899 ①
未払費用	7,281	5,638	△ 1,643 ⑤
その他	7,527	6,906	△ 620
固定負債	30,212	24,806	△ 5,406
長期借入金	21,829	16,730	△ 5,099 ①
その他	8,382	8,075	△ 307
負債合計	70,555	59,245	△ 11,310
純資産合計	74,786	76,799	+2,012
負債純資産合計	155,744	145,990	△ 9,753

貸借対照表のポイント

- ① 現金及び預金 (前期末差△2,203百万円)
短期借入金 (前期末差△1,899百万円)
長期借入金 (前期末差△5,099百万円)
借入金の返済を進め減少
- ② 受取手形及び売掛金 (前期末差△4,105百万円)
買掛金 (前期末差△1,740百万円)
季節要因による売掛金、買掛金の減少
- ③ 有形固定資産 (前期末差△2,069百万円)
単体および子会社での減価償却による減少
- ④ 投資その他の資産 (前期末差△1,904百万円)
投資有価証券の売却、および敷金の返還等による減少
- ⑤ 未払費用 (前期末差△1,643百万円)
冬季賞与支払いによる減少



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2012年3月期 3Q実績	2013年3月期 3Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,161	8,009	△ 152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,105	△ 1,571	+533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,464	△ 8,225	+5,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 98	29	+127
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,506	△ 1,758	+5,748
現金及び現金同等物の期首残高	22,044	13,279	△ 8,765
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	110	+110
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,538	11,631	△ 2,906

キャッシュ・フローのポイント

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は増加したものの、法人税等の支払額が増加した影響により、営業活動全体で8,009百万円の収入となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

自社プロダクト（FSMobile、ロボット関連他）やデータセンターへの投資を行ったものの、単体において富士ソフトKCS株式の売却があり、投資活動全体で1,571百万円の支出となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

前年に引き続き借入金の返済を進め、財務活動全体で8,225百万円の支出となりました。



連結 S I 事業の受注高・受注残高

(単位:百万円)

	2013年3月期 3Q実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	32,752	105.1%	93,237	104.1%	95,699	105.6%	28,398	94.4%
組込系ソフトウェア開発	7,840	103.5%	30,164	114.2%	29,468	112.0%	8,535	111.4%
業務系ソフトウェア開発	12,280	112.0%	39,079	108.9%	38,817	107.7%	11,318	104.6%
アウトソーシング事業	6,881	102.5%	8,517	81.6%	10,157	96.1%	4,573	69.5%
その他SI事業	5,750	97.0%	15,475	92.0%	17,255	97.3%	3,970	79.1%

受注高・受注残高のポイント

●受注高のポイント

受注高のポイントにつきましては、売上高のポイントと同様です。

組込系は自動車関連を中心に機械制御系が好調に推移したことにより、前年同期比114.2%となりました。業務系はカード、損保等の金融系統合案件やECなどのインターネットビジネス関連が堅調に推移したことにより前年同期比108.9%となりました。一方、アウトソーシング事業では富士ソフトKCSを連結除外したことにより前年同期比81.6%となりました。また、その他SI事業については単体、サイバネットシステムでプロダクト案件の受注が減少したため、前年同期比92.0%となり、SI事業全体では前年同期比104.1%となりました。

●受注残高のポイント

組込系は自動車関連を中心に機械制御系が伸張したため、前年同期比111.4%となりました。業務系は富士ソフトKCSの連結除外の影響があったものの、単体での大型案件の受注もあり前年同期比104.6%となりました。一方、アウトソーシング事業についてはヴィクススにおいて主要顧客の保守・運用の事業規模が縮小したこと、および富士ソフトKCSを連結除外したことを主因に前年同期比69.5%となりました。また、その他SI事業については前年に受注したフィーチャーフォン関連プロダクトの販売が進んだことにより前年同期比79.1%となり、SI事業全体では前年同期比94.4%となりました。



単体損益計算書

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前同差	前同比	2013年3月期	
	3Q実績	3Q実績			3Q計画	計画比
売上高	52,911	57,990	+5,079 ①	109.6%	56,320	103.0%
売上原価	40,233	44,163	+3,930	109.8%	43,150	102.3%
売上原価率	76.0%	76.2%	+0.1		76.6%	
売上総利益	12,677	13,826	+1,148	109.1%	13,170	105.0%
売上総利益率	24.0%	23.8%	△0.1		23.4%	
販売費及び一般管理費	10,926	10,306	△619	94.3%	10,450	98.6%
販管费率	20.7%	17.8%	△2.9		18.6%	
営業利益	1,751	3,520	+1,768 ②	201.0%	2,720	129.4%
営業利益率	3.3%	6.1%	+2.8		4.8%	
経常利益	1,935	3,699	+1,763	191.1%	2,730	135.5%
経常利益率	3.7%	6.4%	+2.7		4.8%	
四半期純利益	1,292	3,337	+2,044 ③	258.2%	2,770	120.5%
四半期純利益率	2.4%	5.8%	+3.3		4.9%	

単体業績のポイント

①売上高 (前同差+5,079百万円)

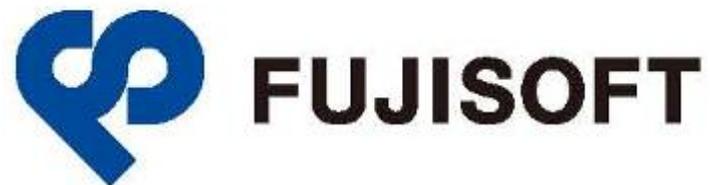
組込系は通信制御系ではフィーチャフォン関連の減収をスマートフォン関連、基地局関連で補いきれずに減収となりましたが、自動車関連を中心とした機械制御系の好調により増収
業務系もカード、損保等の金融系統合案件、およびECなどのインターネットビジネス関連が好調のため、前年を上回り増収

②営業利益 (前同差+1,768百万円)

売上の増加および販管費の抑制を主因に増益

③四半期純利益 (前同差+2,044百万円)

富士ソフトKCS株式売却に伴う特別利益(1,482百万円)計上により大幅増益



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、あわせてご理解いただきますようお願い申し上げます。